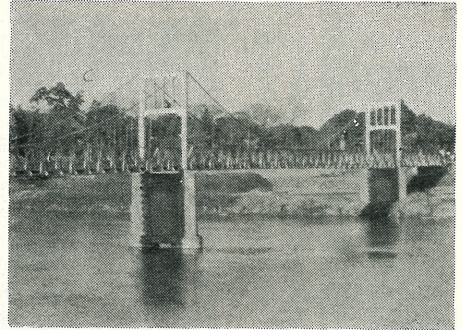




とね

茨城県北相馬郡利根町役場
昭和46年6月20日発行 No. 86



いっあいさつ

利根町長 小島栄一郎



つづって保存いたしましたよ

いと好まざるとにかかわらず当町にも及びあらゆる分野に大きな転換を見ようとしております。激動してやまない首都圏内の情勢にいかに対処すべきかが、今後私に課せられた使命であり、宿命であると存じます。

すなわち、私は地理的、社会的条件から見た町の特質を認識し、かつ、首都圏整備計画との関連性を考慮しつ、広域的、長期的視野に立って総合振興対策を樹立し、明るく豊かな町づくりに努力する所存であります。

ここに、私の町政に対する考え方、政策の概要を述べ、皆様方のご批判を仰ぎたいと存じます。

(イ) 町政懇談会(区長及び各種団体)の実施。

(ロ) 執行部、議員を交えた部落懇談会を積極的に実施する

(ハ) 町政モニターの設置を考慮する。(各部落より一人ぐらい)

二、政策(振興方策)

第一、基本方針

(イ) 本町産業の基幹である農業の振興を主軸とし、これに加うるに、商工業の発展及び観光開発を図るとともに交通体系並びに生活環境施設の整備をすすめ、生活と生産の調和した豊かな明るい田園都市の形成を図る。

(ロ) 十年後を展望して、少なくとも人口三万を目途とする

(ハ) 人間尊重の基本的姿勢の上で、立って文教振興と福祉増進のため積極的施策を推進する。

(イ) 米の生産調整により生ずる農地の荒廃、営農意欲の喪失、農家収入の減少等を防止するため、各農業団体の協力を求め、転作研究会を(仮称)結成し、当町の实情に即した、かつ、安定性のある転作品種について調査研究を進める。

(ロ) ハウス園芸を中心として野菜栽培技術の向上を図り、出荷に対応する流通機構を積極的に整備する。

(ハ) 工業の開発(企業誘致)既存工業の生産性の向上を図るとともに、公害発生のない地元雇用の期待し得る企業を積極的に誘致する。これがため、土地利用計画に基づき工業用地の造成を計画的に進めるとともに、これら用地確保のため、土地の先行取得を

このたび、皆様方のご支援により、非才の身をもって首長の座につき、重責を負う大いなる感激の中に、私は新たな決意をもって身をていし郷土発展のため、まい進いたす覚悟でありますので、今後よろしくご協力を賜りますようお願いいたします。

都市化の奔流は、いまや好スタートした小島町政

スタートした小島町政

対話町政に徹し、道路整備に重点をおき、宅地造成と企業誘致を積極的にこなす。

施政方針

一、政治姿勢

要約すれば、血のかよった対話町政の確立であり、対話の中に町民世論の動向を把握

し謙虚に町民の意向をきき、「町民不在の町政」は断じて行なわず民主政治に徹し、町勢の伸展と町民の福祉増進を図るを基本理念とする。これがため、

(イ) 都市近効農業を指向し、大型機械施設を中心とした生産組織の育成を図り、兼業農家等については、作業受

託等による能率化を促進するとともに集団栽培方式の普及、耕種改善等により生産性の向上を図る。

(ロ) ほ場整備事業(東文間地区文間地区)を実施し、生産の向上を促進するとともに全地域にわたる農道の整備を行なう。なお、豊田せき改修工事の早期実現を要請し、順調な水利確保を促進する。

推進する。横須賀、立木台地周辺に工場適地として約五十ヘクタールの用地確保を図る(小規模工業団地)

(三) 商業の振興と観光開発
布川地区周辺水田の開発により、消費層の導入を積極的に行なうとともに商店街診断協業化等を検討し、経営の近代化を促進し、かつ、栄橋しゅん工後に予測される大資本進出に対処すべき方策等を検討する。

徳満寺を中心として周辺一帯に特異の施設を行ない(レジャーセンター)かつ、宿泊施設及び公園緑地を設備するとともに、利根川、小貝川の自然景観の利用開発及び施設の整備を推進する。なお、魚業組合の協力を求め、利根川利用による観光魚業の常時操業(地引き網、投網等)沼利用等による釣り堀の建設等観光資源の開発につとめ、小巻く取手線の整備、成田線電化(昭和四十七年度)に伴う観光流動人員の積極的吸引を図る。

(四) 道路の整備(重点施策)
(イ) 主要地方県道(小巻く取手線、立崎く羽根野線)の改良、舗装工事を本年度中に完成するよう要請し、さらに千葉く竜ヶ崎線の新設道

路の早期建設を促進する。
(期成同盟会)

(四) 年次計画に基づき(五ヶ年計画)実施中の主要町道の改良舗装を積極的に推進し(年次計画を短縮し、繰上げ実施を考慮する)おおむね昭和四十八年度末までに町内全道路の舗装の完備を図る。なお、羽根野から立木に至る台地に沿い産業幹線道路の新設を計画的に行なう(三年く四年計画)

(五) 住宅の建設
(イ) 町勢の伸展を図るため市街化区域内(布川地区)に積極的に住宅用地の開発を推進する。

(四) 調整区域(布川地区周辺)における宅地造成については(二十ヘクタール以上)主として民間資本の導入を図り、良好な住宅の供給につとめる。なお、目下造成中の羽根野、早尾台団地については、公害対策(主として下水)を講じ、かつ、公共施設の完備を条件にこれに協力し、高級住宅地の造成を図る。

(イ) 企業の進出に伴う人口増に対処し、町営住宅の建設を考慮する。
2、文教の振興
教育優先は、歴代首長の重

点施策であり、これを継承し教育環境の整備、施設の拡充(例えば教材教具の充実)教育内容の充実を図り児童・生徒の能力開発と体力の増進並びに郷土を愛し、協力しあう心を育てるとともに、教職員教育に対する意欲を高めることにつとめる。

当面左記施策を推進する。
(イ) 利根中学校施設の拡充整備(校庭を含む)及びプール建設
(四) 通学道路の整備
(イ) 布川小学校の移転に伴う対策

(二) 郷土誌の編さん
3、福祉対策
経済成長の谷間にあえぐ心身障害者、老人、児童等に対し、きめのこまかい福祉対策の樹立を図るとともに民間福祉事業の育成を図る。

(イ) 老人福祉対策の推進
敬老会の実施、老人クラブの強化を図り、健康保持のため、老人ゴルフを奨励しなお、高令者に対する医療費の全額町負担を考慮する(七十五才以上)
(四) 児童福祉対策
児童遊園地の増設、児童会館の建設を図るとともに、義務教育の完全就学の見地から不就学及び長欠児童の

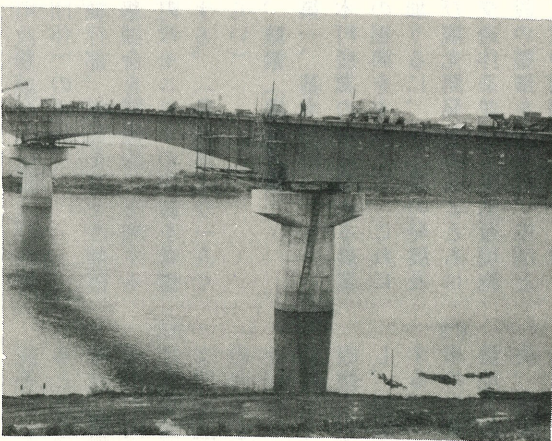
改善に努める。
(イ) 老朽化した診療所を改築し町民の健康管理につとめる
4、青少年対策
(イ) 非行防止の消極的施策にとどまらず、本町の次代をになう青少年に「夢と希望」を与え、特に転換期にある農業後継者としてのわこうどに対す自主性、創造力の培養を図るとともに、郷土愛に徹した男女青年団体組織の育成強化につとめる
(四) 「青年の広場」の建設を考慮する。

5、交通安全対策
栄橋しゅん工後、交通量増大に伴い、多発を予測される

交通安全対策
栄橋しゅん工後、交通量増大に伴い、多発を予測される

交通事故の防止対策を樹立し
当町における交通事故の絶滅を期する。とくに通学、児童・生徒に対する啓もう指導を積極的に行なう。

(イ) 歩道橋、信号機建設の要請
(四) 反射鏡の増設
(イ) 商工会、交通安全協会等の協力を求め、市街地における自動車の渋滞防止を図る以上、私の政治姿勢と政策の骨子を述べましたが、皆様方のきたんのないご批判を仰ぎ、これを町政に反映させたいと存じますので、町政全般にわたる積極的なご意見を賜りますようお願いいたします。



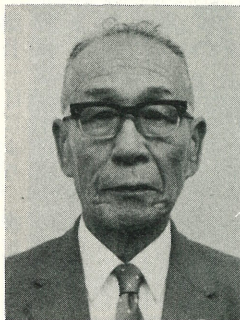
写真説明—栄橋の建設状況は、すでに何回か写真でご紹介いたしましたが、いよいよこの秋には完成の予定です。

上の写真は6月7日に撮影したものです

議会だより

正副議長に上原・大越両氏を選任

【昭和四十六年第三回臨時会】



【写真は上原議長】

昭和四十六年第三回臨時会は、去る五月十二日午後二時から、役場の会議室で開かれました。

この日は、統一地方選挙後初の議会で、十八名の議員が全員出席。

まず、小島町長のあいさつに続いて、議員最年長者である上原欽治氏が、臨時議長の席につき、全員自己紹介ののち、議事に移りました。議事は次のとおりです。

一、会議録署名者指名

臨時議長の名指により、鈴木嘉昌議員、篠崎正一議員と決定。

二、会期の決定

一日限りで決定

三、議長選挙について

議長の選出方法について、臨時議長一同にはかる。投票による選挙がよいという声多数により、ただちに投票が行なわれた。

全員投票の結果、上原欽次



【写真は大越副議長】

氏が十五票と大多数の支持を得て、正式に議長と決定。

正式に議長に決定した上原氏は、「多数皆さんのご支持を得て、身にあまり光栄です

今後は、激動する社会情勢に対応して、新しい町づくり

に努力するつもりですので、皆さんも健康には十分留意され、利根町発展のため、ご協力くださるようお願いいたします。」とあいさつして次の議事に移った。

(別表) 利根町議会常任委員名簿

委員会名	常任委員	
	常	任
総務	◎杉山潔	◎矢沢利平・篠崎正一・飯塚良平
教育	◎鈴木嘉昌	◎根本七郎・星野道雄
厚生	◎鈴木吉	◎寺島康三・鈴木茂
経済	◎関口喜一	◎佐々木民三・本谷昌夫
	◎中川富慈	◎堀越彦里

四、副議長選挙について

投票による選挙の結果、大越博士氏が副議長と決定。

五、議席の決定について

事務局の抽せんにより、次のとおり決定した。

一番篠崎正一・二番矢沢利平・三番関口喜一・四番中川富慈・五番本谷昌夫・六番鈴木茂・七番根本七郎・八番堀越彦里・九番杉山潔・十番鈴木吉・十一番寺島康三・十二番日本昭・十三番佐々木民三・十四番鈴木嘉昌・十五番飯塚良平・十六番星野道雄・十七番大越博士・十八番上原欽治

六、常任委員選任について
地区ごとの選出により別表のとおり決定した。

七、常任委員長及び副委員長の選任について

別表◎印が委員長、○印が副委員長(各委員会の互選による。)

八、竜ヶ崎市外稲北一部市町

村伝染病隔離病舎組合議員選任について

上原欽次氏に決定

九、文化じん芥処理組合議員選任について

推薦により次のとおり決定した。

杉山潔・篠崎正一の両氏、竜ヶ崎地方衛生組合議員選任について
推薦により次のとおり決定した。

大越博士、鈴木嘉昌の両氏
十一、道路敷交換願について
これは、現在造成中の羽根野台団地のいわゆる常陸工業KKの道路と町道を交換するもので、同会社が舗装工事まで全部やるということで、全員異議なしにて可決された。

以上にて閉会。

議員団町内を視察

町長をはじめ町議会議員の一行は道路の整備及び企業

の誘致等、今後の町開発の参考に資するため、次のとおり町内の視察をした。

5月19日(第一回)

町内に誘致した企業等をはじめ、町内の道路をくまなく視察。

5月28日(第二回)

利根中学校のプールの地鎮祭を挙げて後、主として町内の小中学校及び保育所等を視察し、今後の文教施策の資に供するため、学校側から要望等を聴取。

好評だったさつき展示会

6月1日から3日まで、利根町公会堂で行なわれた、布川盆栽会主催によるさつき展示会は、初日から大勢のお客さんが訪れ、美しく咲きほころびとどりのさつきや盆栽のみごときに、賞賛の声をあげいつまでもみとれている姿が印象的でした

布川盆栽会では、このような催しを今後とも続けるとのことでしたので、そのときにはまたご覧になってください紙面のつごうにより、せっかく撮影した写真の掲載ができません。

商工会だより

◆通常総会開催す

風薫る五月二十六日、利根町公会堂で昭和四十六年度の総会を開催しましたので、その模様をお知らせいたします

出席者 八十四名
委任状 五十四名

同日午後二時、玉村理事の司会で総会を進行。中谷副会長が過半数出席により、総会は成立する旨を報告、開会のことばを述べ、「皆さんのご協力によりまして、任期をつとめさせていただいたことに深く感謝いたします。」という会長のあいさつに続いて、議長に和田野安五郎氏が指名選出される。

議長一任により、書記には星野道雄、中村昭夫の両氏が決まり、ただちに第一号議案から審議する。

○第一号議案 昭和四十五年

庶事業報告並びに収支決算承認について
収入総計二百六十八万七千七百三十七円
支出総計二百六十三万三千八百十二円

事務局からの報告に続いて監事市川一男氏から監査の結果、適法正確であったことを認めるとの報告があり、一同異議なく承認されました。

○第二号議案 昭和四十六年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
予算総額〓三百三万一千二百十五円

○第三号議案 昭和四十六年度商工会借入限度額並びに借入金金融機関の決定について
事務局からの報告に続いて

一同にはかったところ、全員異議なく原案どおり可決。借入限度額は五十万円。借入金金融機関は常陽銀行布川支店

○第四号議案 任期満了による役員改選について
議長、いかなる方法によるか一同にはかったところ、選考委員によって決定するとの声があり、選考委員十名にて審議する。

選考委員長花嶋安氏から、次のとおり新役員の報告があり議長一同にはかった。

今月の納税(6月)

町県民税(第1期)
国民年金(第1期)
(4・5・6月)
水道使用料
し尿処理手数料
じんかい処理手数料

副会長二名〓中谷孝

須藤貞男

理事十八名〓玉村明・根本春吉・中村昭夫・沢兼四郎・星野薫・星野道雄・小沢勝高橋良助・糸賀恒夫・片岡三千男・杉山武夫・本谷昌夫・地脇三城・高野潤・五十嵐邦夫・加藤幸助・栗山茂・角田利雄
監事二名〓市川一男
酒井倉吉

右記役員に対し、一同異議なく、さらに選任者に就任を求めたところ、全員就任を承諾した。

議長、一同に長時間の審議について謝辞を述べ、全議案終了。

○新任会長あいさつ「選任を受けた以上、いっしょうけんめいやるつもりでおりますが皆さんのご協力がないとできませんのでよろしく」

○来賓を代表して、利根町長小島栄一郎氏、同議会議長上原欽治氏、常銀布川支店長阿久津勤氏から祝辞があり、副会長須藤貞男氏が閉会のことばを述べ、総会は無事終了。○役職員一同は、会の発展に努力いたします。今後とも会員の皆さんのご協力をお願いいたします。

◆納期特例者源泉税(青申者)

一月から六月分までの源泉税は、七月十日までに納付することになっています。

商工会窓口で取りまとめ、送付を行なっています。お早目にご持参下さい。

◆六〓七月の事業

○所得源泉税の改正説明会、
○店舗診断
○改正建築法規、労災保険説明会

(利根町商工会事務局)

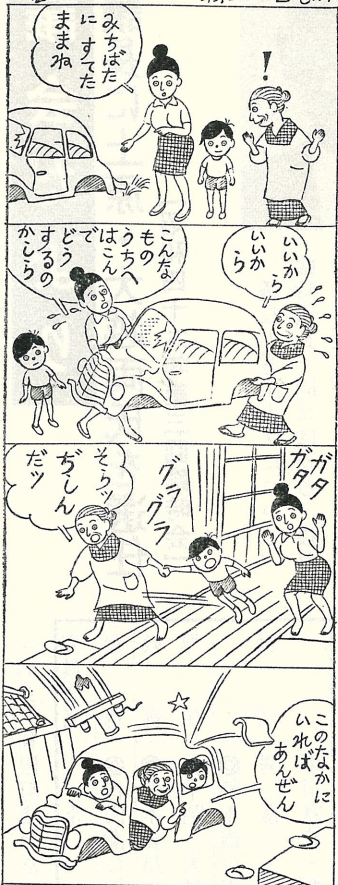
俳句:

奥山 長沼霞水
橋渡る人の春着や利根ぬるむ
クレインの架橋の響き日脚伸ぶ

ころころと蛙鳴くねや里の春
乳しぼる乙女の歌声木の芽風
山寺の逝く春惜しむ木魚かな
羽中 良

春雷の過ぎて筑波の山青し

泰平一家



町勢 (昭和46.6.1現在)	
世帯数	1,772
人口	8,490
男	4,127
女	4,363
発行所	利根町役場
町長	小島栄一郎
編集	総務課 広報係
電話(利根)	(029768) 2211, 2212, 2213
印刷	倉沢印刷株式会社